

気楽に話す 憩いの場所

山田地域の情報紙

Vol.80

発行・編集
2025(令和7年)
10月・11月・12月
[年間・4回発行]
西山田ふらっとサロン
運営委員会・広報部

スポットライトが本格アールスペースを演出!

ふらっとサロンギャラリー情報

10月・11月・12月のギャラリー展示は、
すてきな作品がいっぱいです。ギャラリーは10:00~16:00

(10月) 10/1(水)~10/15(水) **「水彩画展」** 西克成

10/16(木)~10/29(木) **「絵画展」** 花水木

(10~11月) 10/30(木)~11/13(木) **「写真展」** 川畑清美

(11月) 11/14(金)~11/28(金) **「ふらっとサロン20周年企画展」**

(12月) 12/1(月)~12/12(金) **「写真と陶芸展」** 鋤持弘志

12/15(月)~12/26(金) **「野鳥写真展」** 島井佐加恵

●展示に関してのお問い合わせは、ふらっとサロンギャラリー担当まで。

おかげさまで

20
周年

記念号

創立20周年を迎えたふらっとサロンにミニ歴史がある。

2005年、元々幼稚園だったスペースが西山田地区の交流の場として、憩う・話す・見る、地域の集いの場としてスタートしたのが20年前。当時サロンの出発の場に、知らない人たちが集まり、知恵の出し合いで創り上げてきた。何もない空き部屋には、いただき物の調度品がふえて、カタチもでき、ボランティアもふえ、運営委員やシフトの調整、つながり作りのホームページに広報紙・ギャラリー開設などに加え、多くの人々の参加で喜びと笑いの輪が広がるイベントなど思いつくことは実行し具現化していった。前半の10年は手作りのサロンであった。

11年目からのふらっとサロンは試練のスタートでした。西山田地区集会所がなくなる。当然馴染んだこの場所から離れなければならない。

最初の試練、ふらっとサロンを再構築する。どこで、どのようなサロンにするか、問題山積である。

ここで、今まで培ったふらっとサロン根性が噴出する。運営委員とボランティアスタッフの知恵とノウハ



ウが活かされて、周辺の方々の応援を力に、みんなの居場所が立派に新ふらっとサロンが構築されました。

その次に、新型コロナウイルス禍により、感染予防のため長期の休みを取る羽目となり、普段当たり前に接した多くの方々とのお話がない中で新たに気づくことがあった。

ふらっとサロンは片方だけの思いでは成り立たない思いやりのスペースなんだと。まさしく「相思相愛」の似合うサロンなのです。

サロンのおっさん

紙上ギャラリー

山田の野鳥

表紙 絵と文 吉川マサナさん

「相思鳥」ソウシチョウ

元々日本に生息していない鳥で、江戸時代頃から観賞用として日本に輸入され、ペットとして親しまれ、飼われていたものが逃げ出して野生化した。ペアを別々のカゴにいれるとお互いに鳴き交わすことから「相思鳥(そうしちょう)」の名が付けられた。カラフルな色の姿と可愛らしく鳴き鳥として人気がある。